

臨時部長会議開催結果 概要

●日 時	令和 6 年 8 月 22 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 05 分まで			
●場 所	3 A 会議室			
●出席者	■は出席（代理出席は○）			
	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 税務担当部長	■ くらし安心部長
	■ 文化スポーツ 部長	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長
	■ はだの魅力づく り担当部長	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長
	■ 教育部長	■ 消防長		
進行：副市長 事務局：総合政策課長、総合政策課課長代理（政策調整担当）、担当 陪席：秘書課長				
●会 議	1 市長あいさつ 2 報告事項 (1) 令和6年9月秦野市議会第3回定例会月会議提出議案等について [総合政策課・財政課] (2) 一般会計における令和5年度決算見込の概要及び令和7年度当初予算の見通し について [財政課] (3) 大雨等の異常気象時における通行規制について [建設総務課・建設管理課] (4) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課] 3 その他			
●会議概要	1 市長あいさつ ・ 昨年の夏は、1898 年の統計開始以降、「最も暑かった夏」と言われたが、今年それを上回る暑さと感じている。まだまだ暑い日が続くため、熱中症に気を付けながら、体調管理には十分留意し、職務に励んでいただきたい。 ・ 今週 19 日の臨時議会で、内田副市長の後任として、石原 学・前政策部長を選任することに同意いただいた。 ・ 内田副市長には、大変長い間、教育長、副市長として、市政を支えていただいた。任期は残り 1 週間余りとなったが、最後までよろしくお願いしたい。 ・ 9 月 1 日からは、石原副市長を迎え、新たな体制での市政運営となる。部局長には、引き続き、よろしくお願いしたい。 ・ 今月 8 日に、宮崎県で最大震度 6 弱の地震が発生し、平成 29 年（2017 年）11 月に運用が始まった現在の「南海トラフ地震臨時情報」として、初めて「巨大地震注意」が発表された。 ・ 翌日 9 日の午後 7 時 57 分頃には、神奈川県西部を震源とする最大震度 5 弱、秦野市は震度 4 を観測した地震が発生した。 ・ 市内でも、水道配水池の緊急遮断弁が作動したことによる断水や濁り水、公共施設内のエレベーターの停止、また、東名高速道路の通行止め、小田急線の運転見合わせなど、様々な事案が発生した。 ・ 15 日にも、同じく神奈川県西部を震源とする最大震度 4、秦野市は震度 3			

を観測した地震が発生し、小田急線の運転見合わせに伴い、帰宅困難者を受け入れるため、市内4か所に避難所を開設した。

- ・神奈川県西部を震源とする今回の地震は、南海トラフ地震との関連はないとのことだが、首都直下地震の切迫性も指摘されている。

- ・職員一人ひとりが、大地震の発生リスクが高まっているということを認識し、正しく恐れることが大事である。

- ・それぞれの部局において、今回の災害対応をしっかりと生かし、予めできる災害対策と発災後の対応策を今一度、再確認してほしい。

- ・嬉しいニュースとして、今月7日・8日に「関東甲地区自治体職員等スポーツ大会の野球」で、本市野球部が県代表として出場し、見事準優勝して全国大会出場を勝ち取った。

- ・10月18日から沖縄県で全国大会が開催されるということですので、ぜひ、頑張ってくださいたい。

- ・来月4日に開会される第3回定例会について、当初議案は、決算の認定が6件、条例の一部改正が2件、補正予算が2件、報告が3件の合計13件を予定している。

- ・また、追加議案としては、人事案件4件を予定している。

- ・9月議会は、「令和5年度決算」が主要議案になる。監査委員から提出される「決算審査意見書」における指摘事項を真摯に受け止めるのはもちろんだが、決算委員会での議論の結果は、必然的に今後の施策や来年度予算編成へとつながることになる。

- ・部局長には、「令和6年度施政方針」と「総合計画ヒアリング」で確認した事項を踏まえ、基本的な市政運営の考え方や方向性、事業の位置付けなどを念頭に置きながら、議会对応に当たっていただきたい。

- ・議員の思いをしっかりと受け止めなければならないが、安易に妥協せず、毅然と対応することも必要である。

- ・細かい点にも質問が及ぶ場合もあるが、その時は、課長との役割分担のもと、基本的な数値や法令、過去の経過などを再確認し、より丁寧な説明ができるよう、万全の準備をお願いしたい。

- ・今月8日に、今年の人事院勧告が公表された。勧告の中で、「地域手当の見直し」が示され、これまで市町村単位で支給割合が定められていたものが、都道府県単位を基本とすることとなる。

- ・これにより、神奈川県は3級地・12%とされた。秦野市は現行6%なので、段階的に引き上げ、令和7年度が10%、8年度が11%、9年度に12%となる予定である。

- ・同じ県内でも横浜市、川崎市、藤沢市、厚木市は16%となるが、隣接する市町村との不均衡は概ね解消されるものと思う。

- ・この地域手当の級地区分は、介護報酬などの公定価格の算定基準である地域区分のベースにもなっており、福祉施策に係る人材確保に大きな影響を及ぼしている。

- ・そのため、毎年、県への要望活動を行っているが、今後、福祉施策に係る

地域区分の見直しも予測されるため、国の動向に注視し、適切に対応していただきたい。

- ・「電子地域通貨・OMOTANコイン」について、今年の12月1日のスタートに向け、担当課を中心に、庁内一丸となって準備を進めている。

- ・市民からの現金収納や補助金・給付金の交付、行政イベント参加へのポイント付与など、様々な場面でOMOTANコインが活用できるよう、そして、より多くの方に使っていただけるよう、取組みを進めていただきたい。

- ・スタートが肝心ではあるが、その後の利用拡大を図ることも大事であるため、地域経済の好循環と持続可能な地域づくりにつながるよう、よろしくお願いしたい。

- ・9月議会が終われば、すぐに新年度の予算編成事務が始まる。今年度下期の仕事を進める上で、縦横の連携をしっかりと取り、新年度へ確実につなげていくため、スケジュールを立て、常に進捗を確認しながら、国・県の動向などにもアンテナを高くし、組織一丸となって、市政を着実に進めていきたい。

- ・適宜、夏休みを取りながら、心身ともにリフレッシュしていただき、気持ちにゆとりをもって仕事に臨んでいただくとともに、9月議会への対応を重ねてお願いし、部長会議に当たってのあいさつとする。

2 報告事項

(1) 令和6年9月秦野市議会第3回定例会月会議提出議案等について

[総合政策課・財政課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(2) 一般会計における令和5年度決算見込の概要及び令和7年度当初予算の見通しについて

[財政課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(3) 大雨等の異常気象時における通行規制について

[建設総務課・建設管理課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問．通行規制基準となる雨量は、どこで観測するのか。

答．観測機器の設置場所のうち、対象となる路線に最も近いところで観測する。

(4) 土地利用委員会調整部会の審議案件について

[開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし